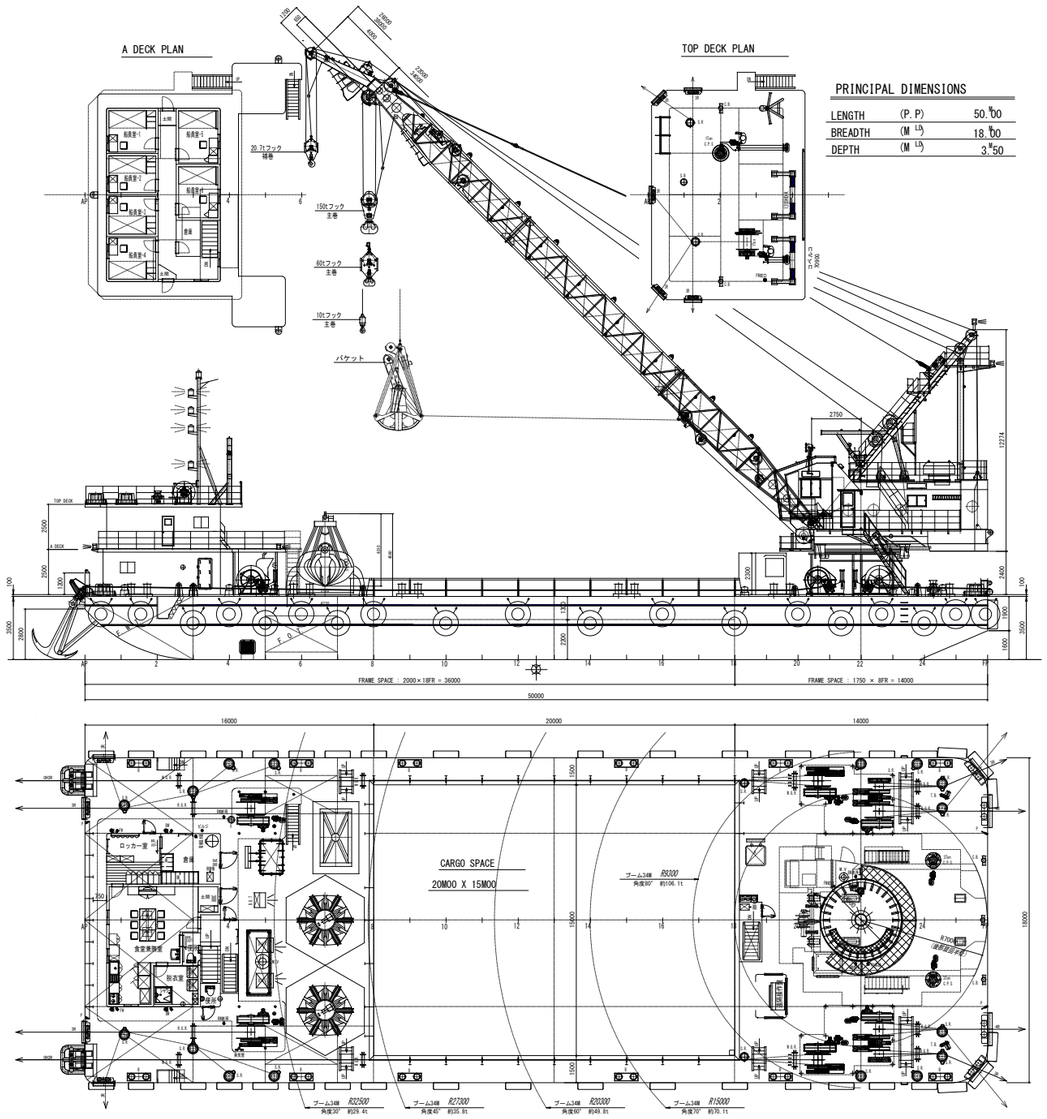
一般配置図



主要諸元表

■船体部仕様

総トン数	637 t
全長	50 m
全幅	18 m
深さ	3.5 m
吃水	1.55 m
カーゴスペース	20m×15m×2.3m 690㎥
スラスター	ポンプジェット式 2t 1基
係留・保持装置	ストックアンカー2.5t×2基
アンカー用ウィンチ	定格荷重 10t
	定格速度 12m/min
	ブレーキ力 20t
最大荷重吃水	3 m
製造造船所	富士海事工業㈱

■グラブバケット仕様

直巻能力	16 t
オレンジバケット	2.7㎥
オレンジバケット密閉タイプ	2.7㎥
ラッチアームバケット	3.5㎥
浚渫深度	30m
グラブバケット巻上揚度	水面上5m
標準装備	沈みつかみ仕様
特別装備	定寸堀装置
	深度・開口度計

■クレーン仕様

型式		㈱SKK製/ SKK-1200HD-K
原動機		CAT 403kw/1800rpm
		IMO Nox2次規制対応
動力伝達方式		全油圧駆動
操作方式		電気操作レバー式
		ICT施工管理対応機
特別装備		4ドラム（支持、開閉、主巻（雑用）、補巻）
		ジブトップカメラ
主巻	最大定格総荷重×作業半径	150t×8m
	作業半径	32.5m～9.3m
	常用ジブ長さ	34m
	揚程	水面上19.8m 水面下15.3m
	巻き上げ速度	5.28 m/min
補巻	最大定格総荷重×作業半径	20.7t×25.9m
	作業半径	36.3m～10.5m
	常用ジブ長さ	38m
	揚程	水面上23m

Infinity Kaneda 株式会社金田建設
〒685-0015 島根県隠岐郡隠岐の島町港町大津ノ二・13番地4
TEL：08512-2-1421 FAX：08512-2-1423

第十五建生

DAIJUGOKENSHOU

Floating crane for dredge and crane barge

SKK-1200HD-K型 全旋回式150t吊浚渫兼起重機船

Infinity Kaneda
株式会社 金田建設

DAIJUGOKENSHOU

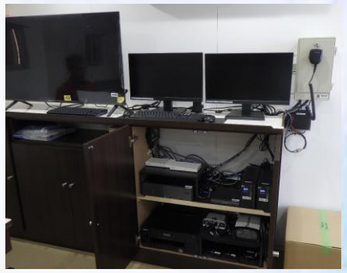
第十五建生

全旋回式150t吊浚渫兼起重機船

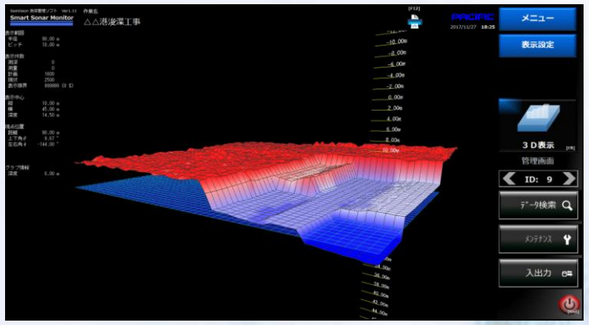
特徴

◆施工管理システム

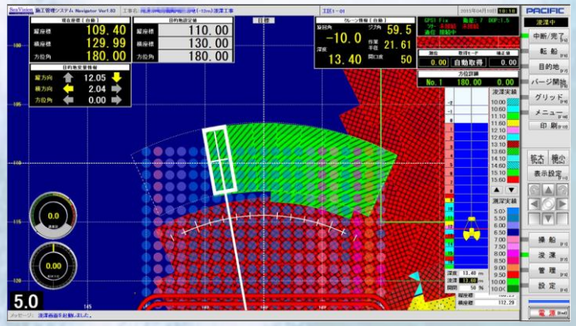
施工管理システムSV-Navi、
測深システムSV-Sonar、RTK-GNSS、船体傾斜計、
受圧式吃水計を搭載し、クレーン情報と連携します。
リアルタイムに位置、深度を管理し、起工測量、設計との差を
平面色分け表示（2D表示）や3次元表示で確認し正確で無駄のない
作業が可能です。



▲船内モニター



※SV-Sonarイメージ　(提供元)パシフィックソフトウエア開発(株)



※SV-Naviイメージ　(提供元)パシフィックソフトウエア開発(株)

◆船首集中操作室（右舷設置）

船首右舷側に集中操作室を設け、遠隔操作盤により、
甲板上に設置した6台のウインチを1名で遠隔操作可能です。

また、操作室内にはスラスター遠隔操作盤を組み込み、
ウインチ操作とスラスター操作を集中して行うことで、
岸壁への接岸・係留作業を円滑に行える設備としています。

さらに、操作室から直接目視することが困難な船尾側には
監視カメラを設置し、操作室内のモニターで船尾の状況を
確認できるようにすることで、安全性にも配慮した集中操作
システムです。

▲集中操作盤

◆船尾甲板室頂部の係留設備

船尾甲板室頂部に係留用ウインチ及び係留用艤装品を配置し、潮位変動による岸壁との高低差を
考慮した係留作業が可能な設備としています。

◆無駄のない効率的な船体配置

50m × 18mの船体の、中央部に20m × 15mの広大なCARGO SPACE（荷場）を確保。
船尾側には甲板室およびグラブバケット格納スペースを配置し、限られた船体スペースを最大限
有効活用し、作業性を重視した無駄のない船体配置としています。

◆クレーン全油圧駆動 電気操作レバー

クレーンは全油圧駆動方式で極めて円滑な巻上げ、巻下げ及び停止の速度制御が可能です。

さらに、電気操作レバー式で設定深度自動停止、定寸堀機能を有し、ICT施工に対応しています。

(株)SKKの全油圧駆動では新システムを導入した初号機で、
将来的に自動運転が確立すれば対応できる可能性を秘めた機体です。

4ドラム（支持、開閉、主巻（雑用）、補巻）を装備し、クレーンフックをフックポケットに
格納後、すぐにバケット作業を行うことができます。

▲クレーン操作室

◆快適な居住空間

甲板室にはWi-Fi設備を完備した6室の個室を設け、乗組員のプライバシーを確保しながら、
ゆったりと休憩できる居住空間になっています。
■1F：食堂兼賄室、トイレ、ロッカー室、脱衣室、シャワールーム
■2F：船員室（6室）

▲船員室

▲食堂兼賄室